

## 彩の国みどりの基金を活用した事業予算案

**1 森林の保全・活用** (基金活用額 766 百万円)

(主な事業)

- ・ 水源地域の森づくり事業 【農林部】 (358 百万円)  
水源地域の森林を針広混交林や広葉樹の森に再生
- ・ 県民参加による里山・平地林再生事業 【農林部】 (261 百万円)  
ササ刈り等の実施による里山・平地林の再生
- ・ 森林のウェルカムストリート整備事業 【農林部】 (117 百万円)  
「彩の国ふれあいの森」などの歩道や休憩ポイント等の整備

**2 身近な緑の保全・創出・活用** (基金活用額 708 百万円)

(主な事業)

- ・ グリーン庁舎化推進事業費 【総務部】 (73 百万円)  
県本庁舎の壁面緑化、車庫上分館跡地の芝生化
- ・ ふるさと自然再生事業費 【環境部】 (2 百万円)  
平地林の保全活動を行う団体への支援、自然再生協議会の運営支援
- ・ まちのエコ・オアシス保全推進事業費 【環境部】 (128 百万円)  
都市周辺の多様な生物が暮らす水辺空間や平地林等の公有地化
- ・ 一人一本植樹運動推進事業費 【環境部】 (52 百万円)  
県民・行政・企業・ボランティア団体等が一体となり植樹運動を展開
- ・ みどりの園庭・校庭促進事業費 【環境部】 (155 百万円)  
幼稚園・保育所の園庭、学校の校庭の芝生化の促進
- ・ 社会福祉施設緑化推進事業費 【福祉部】 (4 百万円)  
社会福祉施設において利用者、ボランティアによる植樹を推進
- ・ 県民参加による里山・平地林再生事業 (本多静六博士の森づくり) 【農林部】 (13 百万円)  
森林の少ない地域に県民参加により森林を造成
- ・ 新たな森づくり推進費 【都市整備部】 (68 百万円)  
都市部の公園を対象に県民の寄附による植樹などで森を創出
- 新**・ 新たな森建設費 【都市整備部】 (103 百万円)  
平地林などの身近な緑が少ない都市部において、シンボルとなる新たな森を創造
- ・ 県立高等学校緑化推進事業 【教育局】 (54 百万円)  
県立高校における校庭の一部芝生化、屋上緑化、壁面緑化、樹木での緑化を実施

**3 環境に関する意識の醸成等** (基金活用額 116 百万円)

(主な事業)

- ・ 地球にいいこと学習推進事業費 【環境部】 (21 百万円)  
環境学習資料の作成、児童生徒による環境保全活動等への助成
- ・ みどりの埼玉づくり県民提案事業費 【環境部】 (44 百万円)  
みどりに関する取組を県民等から公募し、提案事業に助成
- 新**・ 森林との約束「ウッドスタート」事業 【農林部】 (10 百万円)  
基金事業で間伐した木を使った椅子を保育所等に配布

○基金活用額計 1,590 百万円 (なお、事業費ベースの予算額では 1,928 百万円)

※新規積立額 1,399 百万円と基金残高からの取崩額 191 百万円を活用